

広報

への

No. 221

2015. 3.1

守り受け継ぐ、伝統の舞

二戸市郷土芸能祭（2月8日、市民文化会館、裏表紙に関連記事）



スポーツで 熱く交流

日本と韓国の中学生在が互いの国を訪問し、スポーツを通して友好を深める「日韓青少年冬季スポーツ交流事業」（日本体育協会主催）に、本市からカーリングとアイスホッケーの選手が参加しました。カーリングには佐藤大輔君、高瀬龍人君、荒木田南実さん、荒木田未来さん（福岡中3年）、陣場友輔君（同2年）、舘ヶ沢昂希君（金田一中3年）、アイスホッケーには坂本泰基君、本堂将汰君、若狭昌樹君、平範一君、漆田孝矢君（福岡中3年）、本堂哉汰君（同1年）、高森蓮君（金田一中3年）、高森響君（同1年）が参加。1月11～17日に韓国を訪問し、競技ごとに合同練習や親善試合を行って交流を深めました。

また2月9～15日は韓国選手団が来日。カーリングの会場となった県北青少年の家スケート場では13日、親善試合が行われました。男女とも敗れたものの選手たちは韓国トップチームの技術を肌で感じていました。

試合を終えて高瀬君は「ショットの正確さやフォームなどたくさんのことを学び成長できた」と充実の表情。また荒木田南実さんは「自分たちのベストが出ないと勝てない。試合の組み立て方などもっと経験を積んでいきたい」と意欲を燃やしていました。



韓国のトップ選手に挑むカーリング男子



韓国で熱戦を繰り広げた県アイスホッケーチーム

【日韓交流に参加して】



福岡中3年
平 範一君
たいら のりかず

韓国チームはレベルが高かった。スピードがあり、パスも正確で、声もしっかり出ている。自分もたくさん走りこんで、スピードを磨いていきたい。

広報にのへ 3月1日号 CONTENTS -目次-

- 01・20 守り受け継ぐ、伝統の舞
一戸市郷土芸能祭
- 02 日韓青少年冬季スポーツ交流
防災士養成研修講座 ほか
- 03 学校保健研究大会
- 04 にのへトピックス
- 06 国体ニュース
- 10 News & Information
- 14 風光る 工藤美郷さん
(日本調剤三戸薬局)
- 15 こみゆにTeaたいむ
今やらねば
田中舘愛橘の生涯⑧
- 16 こしゃーる
小さな美術館
- 17 図書館情報
マイ・トレジャーズ
金田一歌のついで
- 18 3月の納税
ドライバーさん、気をつけて！
ぴかっとニュース
- 19 慶弔・休日当番医など



イラスト：きり光乗

「地域の防災リーダー」目指し

二戸市防災士養成研修講座は1月24、25日、文化会館で行われ、47人が防災士の仲間入りを果たしました。東日本大震災からもうすぐ4年。参加者は研修を通じ、防災への意識を新たにしていきました。

防災力を高めるための資格

防災士は「自助」「共助」「協働」を原則に、社会のさまざまな場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識、技能の修得を要する、民間の資格です。

市は、今年度初めて養成研修講座を主催。消防団員や、自主防災組織の代表、市職員などが参加し、地域や職場での「防災リーダー」を目指し、研修に取り組みました。



グループワークの様子。東日本大震災などで生じた避難所の問題などを踏まえ、さまざまな意見を交換しました

防災士の資格取得には、今回の研修講座と消防署などで行う救急救命講習の受講に加え、試験に合格することが必要。研修講座の内容は幅広く、地震や豪雨、火山噴火などの自然災害の仕組みや日本を襲った過去の自然災害の状況、災害発生時に備えた防災、減災のための対策などを学びました。24日に行われたグループワークでは「避難と避難行動」と題し、近くの小学校を避難所に指定した場合、どの部屋をどのような用途で使用するか、班ごとに話し合いました。

研修を終えた参加者は「広範囲に及ぶ内容を覚えるのに苦労したが、この経験を活かし今後の防災に努めたい」と充実の表情をしていました。

来たるべきときに備える

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、2件の家屋が地すべり被害を受けた本市。避難所では、「余震が怖くて一人で寝られない」という人や、交通機関の不通により帰宅できなかった人な

どが不安な夜を過ごしました。

また、たびたび豪雨災害にも見舞われています。23年9月22日には台風15号による土砂崩れで、1人の尊い命が奪われました。

防災士には、地域防災の新たな担い手として、地域と行政をつなぐ役割と、家庭や職場、地域などさまざまな場での活躍が期待されます。しかし大切なのは、防災士だけではなく、一人ひとりが防災意識を高めること。これから起こりうる災害に備え、地域と行政が一体となって取り組まなければなりません。

Interview ~地域の防災意識を高めたい

私の住む海上地区を含む一帯は、土砂災害危険個所が多いところ。5年前に自主防災組織を立ち上げ、避難訓練などを行っています。いざというときは自分たちで助け合うしかありませんからね。防災士の研修は機会があれば受けたかったので、たくさんの方が学べて、いい経験になりました。今後は学んだことを活かし、地域の防災意識をさらに高めていきたいですね。



防災士の資格を取得した高橋 武士 さん

災害時応援協定に「人的交流」追加 さらなる連携誓う

二戸市と茨城県取手市は、平成24年に締結した災害時相互応援協定に基づく応援活動を円滑に行うため、平時から職員の交流を図る旨の項目を同協定に追加しました。

締結式は1月23日、二戸市役所で行われました。取手市からは藤井信吾市長と江角晴次安全安心対策課長が出席。両市長は、それぞれ署名した協定書を取り交わし、固い握手

でさらなる連携を誓い合いました。

藤井市長は「現在、取手市から南相馬市へ職員を派遣している。いろいろなことがお互いさま。二戸市とも助け合っていきたい」とあいさつ。藤原市長は「近年、いつどこどのような災害が起こるか予測できない。職員交流や情報交換などで協定がさらに強化されるものと期待している」と述べました。

災害時相互応援協定



固い握手を交わす藤原淳二戸市長（左）と藤井信吾取手市長（右）



妖怪ウォッチの音楽に合わせてダンスを披露する二戸西小学校の児童と保護者、先生



健康に関する図画の表彰

みんなで考える、子どもの健康づくり

第45回二戸市学校保健研究大会（市学校保健会など主催）は1月31日、市民文化会館で開催されました。関係者約300人が参加。講演や実践発表を通して、子どもたちの健康を考えました。

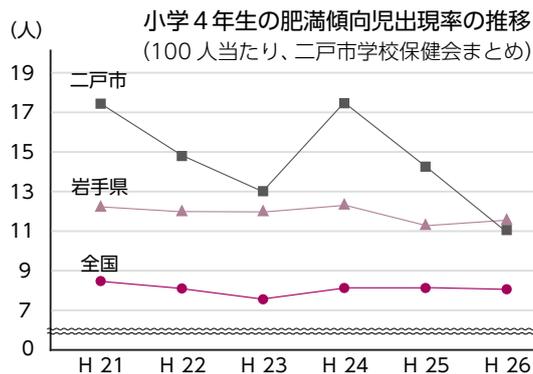
**子どもの肥満対策
地域・家庭の協力不可欠**

二戸市の児童生徒の肥満出現率は、全国や岩手県の平均を大きく上回っています。そこで今回は、生活習慣を見直すきっかけになるよう「子どもたちの肥満防止と望ましい運動のあり方」をテーマに、講演や実践発表が行われました。

開会式で二戸市学校保健会の菅原光宏会長は「子どもたちが学校で過ごす時間より、家庭で過ごす時間の方が長い。肥満対策は家庭や地域でも一緒に取り組むことが重要」と呼び掛けました。また健康に関する図画・ポスターコンクールと、よい歯の学校の表彰も行われました。

**県内初。全小中で運動器検診
各校では独自の取り組み展開**

続いて、菅整形外科皮膚科クリニックの菅栄一院長が講演。市が本年度、県内で初めて市内すべての小中学校で実施した「運動器検診」の結果などから、「子どもたちは運動しすぎの子としない子に二極化している。総合的な対策が必要」と提言しました。



また宮城教育大学の黒川修行准教授は平成25年度に本市で実施した身体活動調査の結果に触れ、「体力を向上させるには、ある程度の強度がある運動が必要」と訴えました。

実践発表では金田一小学校、二戸西小学校、御返地中学校の保健委員を務める子どもたちが、それぞれ学校での取り組みを発表。二戸西小学校の児童は、休み時間や放課後に全校でマラソンや縄跳びをして体を動かしていることなどを紹介し、「妖怪ウォッチ」の音楽に合わせて踊るダンスを保護者や先生と一緒に披露しました。

講演 2

子どもに適した運動で 肥満の解消、予防へ

宮城教育大学教育学部

くろかわ なお ゆき
黒川 修行 准教授



幼少期からの肥満は、大人になっても解消することがなくやせにくくなるため、将来の生活習慣病のリスクが高まる傾向にあります。子どものころからの対策が必要です。

二戸市の小学5年生と中学1年生を対象に1週間、起床から就寝まで計測器をつけて生活してもらい、体の活動量を調べる「身体活動量調査」を行いました。その結果、歩数の個人差が大きいことがわかりました。また肥満傾向児の出現率は、強度が中等度以上の運動をしている子とそうでない子を比較すると、出現率が2倍違うという結果が出ました。

二戸市子どもたちには、運動時間と強度の確保が必要です。運動の少ない子は、まず体を動かしてみる。運動の多い子は、けがに注意しながら続ける。個人差がありますので、その子が運動を嫌いにならないようにすることが大切です。また、何より肥満の対策には運動に加えて日々の食事、栄養も、とても大切なことも忘れないでほしいと思います。

講演 1

関係機関と連携し 運動器の成長を支援

菅整形外科皮膚科クリニック

かん えい いち
菅 栄一 院長



今の子どもの体は二極化していると考えます。特徴の一つはスポーツのやりすぎで肩やひじを痛めるグループ。もう一つは、運動能力が低下しているグループです。

私が学校医を務めた小中学校で、「運動器の10年・日本委員会」が示した内容に基づき3年間検診を試行した結果、運動機能の低い子には肥満傾向があることなどがわかってきました。運動機能低下などには食習慣と運動習慣両方が起因していると考え、内科検診や運動テストなどで総合的に判断する必要があると思いました。

まず、事前問診票と学校での様子をチェックし、検診を受け、必要なときは医師の受診を勧め、また運動機能が低下しているとみられる場合は学校や家庭で運動の機会を増やすように提言しました。その結果は関係者とともに原因などを分析して学校や家庭にフィードバックし、習慣の見直しなどにつなげていきたいと考えています。これからも総合的な対策を、多方面と連携して行うことが必要です。

長年の尽力認められ

平成26年度各種表彰

【右手県教育表彰】

学校歯科医 渡邊新悟さん

玉木小、上斗米小、川代小、根森小、下斗米小、上斗米中、二戸西小の学校歯科医を通算で28年間務め、学校における保健管理活動の行動に多大な貢献をした。

学校薬剤師 清川悦子さん

中央小、上斗米中、金田一中、福岡小の学校薬剤師を通算で30年間務め、児童生徒の健康診断、健康教育に対する助言指導を積極的に行った。

【健康教育推進学校表彰（日本学校保健会表彰）】

優良校 中央小学校

学校と家庭が連携して健康教育に取り組み、特に歯科保健分野では、長年、学校歯科医の指導のもと充実した歯科

指導を行ってきた。また、体力向上を学校教育の要として取り組み、児童も各種スポーツ活動に積極的に励んでいる。

これらの取り組みの結果、*DMF指数の減少や、肥満傾向児童の減少と体力の向上など、確実に成果が上がっている。

*虫歯になったことがあるかについての指数。治療していない虫歯(Decayed teeth)、虫歯を抜いたこと(Extracted teeth)、虫歯を治した歯(Filled teeth)の略。

【右手県学校保健功労者表彰】

学校歯科医 阿部年昭さん

御返地中、福岡中の学校歯科医を歴任し生徒の健康管理、指導助言などの学校保健活動にも積極的に取り組み、学校長や養護教諭、地域とも連携し、学校保健の確立向上に尽力している。



へのトピックス

●身近で起きた出来事や楽しい話題、イベントなどの情報をお待ちしています。
情報管理室 ☎ 23-3114、FAX 22-1195



握手を交わす鳩岡矩雄教育長（左）と出口利定学長（右）

教育の質、向上めざし

市教育委員会（鳩岡矩雄教育長）と東京学芸大学（出口利定学長）は2月3日、人的交流などを促進する連携協定を同大で締結しました。同大が東北の教育機関と協定を交わすのは初めて。来年度から、同大での短期研修などを通じ、本市教員の資質向上を図ります。また平成23年度から学力向上プロジェクトの一環として行ってきた、同大付属小・中の教員による模擬授業や講演を今後も継続。一方、本市は学生の被災地訪問など防災教育研修のサポートを行います。

調印式で出口学長は「それぞれが持つ強みを補完しながら、長いスパンで連携を続けたい」と述べ、鳩岡教育長は「大学の有する教育情報や人的資源を提供していただけるのは、市にとって大きなメリット」と今後の取り組みに期待しました。

中学生海外派遣研修報告会 思い出胸に、成長誓う

二戸市中学生海外派遣研修の報告会が2月19日、シビックセンターで行われ、1月にイギリスを訪れた研修生10人が、現地の学校やホームステイ先でのエピソードなどを報告しました。野崎未来さん（金田一中2年）は、本市出身の田中館愛橘博士が留学したグラスゴー大学を訪問し博士の足跡をたどったことを紹介。「世界で活躍した博士を改めてすごいと思った。今までよりさらに二戸を誇りに感じた」と発表し、「今回学んだことを生徒会活動で生かしたい」と語りました。



写真で研修の様子を紹介しながら学んだことを報告する生徒



参加者は「悩みは誰かに相談しよう」と確認しあいました

体 家族介護者交流会 体操やグループワークで交流

家族介護者交流会は1月27、29、30日に天台の湯で行われ、日ごろ介護に携わる約70人が参加しました。30日は斗米、仁左平、金田一地区から17人が参加。体操や入浴で体を動かした後、グループごとに交流を深めました。介護の環境はそれぞれですが、参加者は明るい表情で、苦勞していることや介護保険制度への疑問、リフレッシュの方法などについて情報を交換したり、社会福祉協議会の職員などからのアドバイスを受けたりしていました。



野菜は一日350g! 流行の「カップ入り野菜サラダ」に挑戦

福岡高校で料理教室

人暮らしの栄養管理学が

福岡高校(高橋隆校長)の3年生23人は2月20日、親元を離れ一人暮らしをする際の健康管理に役立ててほしいと、ことし初めて食育教室を行いました。市の栄養士や食生活改善指導員の指導のもと、栄養バランスを重視した雑穀ご飯、豚汁、タラのムニエル、野菜サラダなどを調理。木戸七虹さんは「母がいつも栄養を考えてくれていたと思うので、自分もそうしたい」と話し、長岡 稔君は「将来の一人暮らしに役立てたい」と、懸命に取り組んでいました。

工 創立50周年記念碑が完成 業人育成に決意新た

福岡工業高校(三田章徳校長)は、創立50周年を記念し本校舎前に記念碑を建てました。除幕式は2月12日に行われ、学校関係者らが出席。記念事業協賛会長の佐藤純さんは「立派な記念碑が完成した。新たな一步を踏み出して」と期待しました。また三田校長は「これからも学校の役割を噛みしめ、工業人の育成に取り組みきたい」、生徒会長の浪岡幸希君(2年)は「50年で築き上げた技術をさらに磨き、記念碑の言葉に負けぬよう頑張る」と決意しました。



三田校長(左から3人目)が揮ごうした創立50周年記念碑

住 上米沢町内会「文化まつり」 民の力作ずらり

上米沢町内会(菊池幸吾会長)の「文化まつり」は2月14、15日の両日、上米沢青年会館で開かれました。これは同町内会が隔年開催する地域住民の作品展で、今回で4度目。会場にはつるし飾りやちぎり絵、書道、彫刻、油絵など200点以上の力作が並び、来場者を楽しませていました。菊池会長は「この地域には多彩な才能をもった人がたくさんいる。作品を見てもらうことが出品者にとって励み」と充実感をにじませました。



個性豊かな作品がずらりと並び会場



赤長カブ漬けに挑戦する参加者

お ぎばって足沢「小正月を楽しむ会」 腹いっぱい！足沢の魅力満喫

ぎばって足沢70の会（上野司代表）は2月8日、足沢生活改善センターなどで「小正月を楽しむ会」を開きました。市内外から多くの人を訪れ、餅つきや地元産の雑穀や大豆が使われた料理、足沢名物・赤長カブの漬物と郷土のおやつ・てんぼづくり体験などを楽しみ、足沢の魅力を満喫しました。吉田あいさん（八戸市）は「餅つきが上手だと褒められうれしかった。どんどんピンク色に変わっていったカブを食べるのが楽しみ」を笑顔で話しました。



浄法寺分署に配備された高規格救急自動車

医 浄法寺分署に新しい救急車を配備 療機関との連携強化

二戸消防署浄法寺分署に新しい救急車が配備され、2月12日から運用を開始しました。車内の活動スペースが広がったほか、新たな器材として「12誘導心電図伝送装置」を導入。これは車内で測定した心電図をEメールで病院の医師に送ることができる器材で、病院到着から治療開始までの時間を大幅に短縮することが期待されます。二戸地区広域行政事務組合管理者の藤原 淳（じゅん）二戸市長は「心筋梗塞が多いこの地域にとって非常に心強い」と述べました。

昔 第2回げっばそりレース大会 の遊び、伝えたい

よりゃんせ金田一（久保田滋子会長）は2月1日、「市民の森」特設コースで、げっばそりレース大会を開きました。げっばそりの楽しさを子どもたちに伝えようと昨年初めて開催。今年は市内外から小学生19人が参加し、低学年と高学年に分かれそれぞれ200[㍎]と300[㍎]のコースを2回滑り、合計タイムを競いました。2年連続で低学年の部を制した嶋野 恭兵君（きょうへい）（金田一小2年）は「嬉しい。前に体重をかけて優しく舵をとるのがコツ」と喜びを語りました。



スリル満点！スピード感がたまらない

浄 テーブルウェア・フェスティバル2015 法寺塗で食卓に華やぎを

「テーブルウェア・フェスティバル2015～暮らしを彩る器展～」(同実行委員会主催)は2月1～9日、東京ドームで開催され、浄法寺塗が主催者展示に出展されました。椀やカップ、酒器など約30点を展示。深い色合いと艶が魅力の漆器を使った食卓シーンを提案しました。岩手の漆器が紹介されるのは今回が初めて。来場者は一つ一つじっくりと眺めたり写真を撮ったりしながら「シンプルで使いやすい」「色に深みがあっていい」と話していました。



浄法寺塗で彩るモダンな食卓を提案

国体関連の話題をお届け！

国体ニュース



手でお箸とお椀をつくり「そばうち！」のポーズ

希望郷いわて国体ダンスキャラバン 歓迎の心、ダンスに込めて



最後はハイタッチでお別れ

希望郷いわて国体をダンスで盛り上げるキャラバン隊が2月6日、松の丸幼稚園（園分一彦園長）を訪れました。3〜5歳の園児130人が高橋厚子さんの指導で振り付けをマスター。「わんこきょうだいのうた」に合わせて元気いっぱい体を動かし、岩手を訪れる選手たちへの応援や歓迎の気持ちを表しました。練習の後半には、わんこきょうだいのそばつちやアンダーエイジの結城多聞さん、岩手まるごとおもてなし隊の皆さんが登場し、子どもたちは大はしゃぎ。

野中智瑛ちゃん（6歳）は「シュートの動きが楽しかった。これからも踊りたい」と笑顔を見せました。

来月から
新コーナーが
スタート！

4月1日号から、
国際関係の情報をお
届けするコーナー掲
載します。どうぞご
覧ください。

2016 希望郷いわて国体冬季大会 10 カ月前イベント

ショートトラック体感会

今季、国内外の大会で上位入賞を果たした、村竹啓恒選手（カシオペア氷上スポーツクラブ）が、そのトップ技術を披露します。

圧倒的スピードをリンクサイドで感じ、競技を学んで、二戸市で初開催となる冬季国体スケート・ショートトラック競技を10倍楽しみませんか。入場は無料です。

日時 3月22日（日）

午後3時30分～4時30分

場所 岩手県立県北青少年の家スケート場

内容 競技用具や競技の見どころ、大会の応援方法などを説明します。また村竹選手のデモンストレーション滑走があります。

その他 帽子、手袋など寒くない服装でお越しください。

問い合わせ先 国体推進室（内線 751）



ぐんま冬国体で活躍した村竹啓恒選手（右から2人目）

村竹選手、ぐんま冬国体で活躍！

冬季国体のスケート・ショートトラック競技は1月31日、2月1日の両日、群馬県総合スポーツセンターアイスアリーナ（前橋市）で行われ、カシオペア氷上スポーツクラブの村竹啓恒選手が成年男子500メートルで4位、同1000メートルで8位に入賞しました。また2月12日、13日にスペインで行われたユニバーシアード冬季大会でも1000メートルで4位、500メートルで5位、メンバー入りした5000メートルで4位と活躍。惜しくも表彰台は逃したものの、来年のいわて国体冬季大会での活躍を期待させるレースを見せてくれました。

稲庭スノーフェスタ

3月21日(土祝) 9:30 ~ 14:00
天台の湯周辺



浄法寺町観光協会のHP
では2kmのソリ滑りの動
画を見ることができます



❶ かた雪トレッキング(昼食付き) ※要事前予約
参加料 おとな2,000円、こども1,000円
定員 15人 申込期限 3月13日(金)

❷ 2kmのソリ・ゴムチューブ滑り体験 ※要事前予約
参加料 500円 定員 36人(各回12人)
時間 ①午前10時 ②11時 ③午後1時
申込期限 3月13日(金)

❸ バナナポートでミニツーツリング、ちびっこスノーモービル
参加料 おとな200円、こども100円

❹ ちびっこ広場、かまくら食堂(無料開放)

※悪天候などにより内容が変更になる場合があります

問い合わせ、申込先 浄法寺町観光協会(浄法寺総合支
所地域課内) ☎38-2211、ホームページ <http://www.joboji-kankou.jp/>

ニュース

“風”、20周年で集い

子どもの心身の発達を支援する、発達支援センター“風”(二戸市社会福祉協議会運営)は、ことし開設20周年を迎えました。平成7年、子どもの療育の機会を増やしてほしいという要望を得て「はとぼっば教室」が開設。その後教室の開設日や対象などを徐々に拡大し、現在は児童発達支援事業や放課後等デイサービス事業などの多機能事業所として未就学児、小中学生74人が利用しています。1月31日には記念の集いが開かれ、これまでのあゆみを振り返りました。子どもたちが看板を手づくりしたり職員への感謝のビデオレターを流すなど、暖かい雰囲気になりました。



講師の佐藤真名さん(右)とワイワイトーク

開設時からの職員である浪岡加奈子さんと澤谷ひろみさんは「“風”は発達支援に重点を置く事業所ではあるが、子育てそのものの支援の一環と考えているので、切れない支援が大切。これからも関係機関と連携を深めながら支援をするので、親御さんも心配ごとがあったらまず相談してほしい」と話しました。また社会福祉協議会の山口金男会長は「発達支援のさまざまな事例に対応する専門の職員がいるので、気軽に相談に来ていただきたい」と呼びかけました。

ニュース

大道さん、長年の功績に栄誉

長年、交通安全活動に尽力した人に贈られる交通栄誉章・緑十字銀章(警察庁長官、全日本交通安全協会会長連名表彰)を、市交通指導隊長の大道勇さんが受章しました。1月22日には市役所を訪れ、藤原淳市長に喜びを報告。活動の思い出を語りました。



大道さんは昭和40年に二戸地区交通安全協会福岡分会に入会。岩手県街頭活動の思い出を語る大道さん交通安全協会理事などを歴任し、積極的に交通安全運動に取り組んできました。

また約46年間、交通指導隊員として毎朝市内の交差点に立ち、登校する子どもたちを見守ってきました。「おはよう」のあいさつの後、握手を交わすのが大道さん流。「信頼関係がなければ、指導することはできない」とその意義を強調します。

「この地域の子どもたちは皆孫のようなもの。事故に遭わず、立派に育ってほしい」と願う大道さん。体調不良のため現在は街頭活動を休んでいますが「春になったらまた始めたい」と意欲を見せています。

ニュース

愛橋博士に続け！

第52回田中館博士記念児童生徒科学研究発表会（二戸科学教育研究会主催）は2月4日、シビックセンターなどで行われました。二戸管内から参加した50組の児童、生徒らは、夏休みや冬休み、また授業や部活動の中で疑問に思った



身近な野菜などからDNAを採取する実験結果を発表した茶家知怜さん（福岡小6年）

ことなどを題材に、個性あふれる研究の成果を発表。小学2年生の部会では、大道千果さん（福岡小）が「カッターチーズを作ってみた」と題し、牛乳とレモン汁でチーズを作る実験について発表すると、児童から「初めて知った」「レモン以外では試したか」など、感想や質問が活発に出されました。

市内校の受賞者は以下の通りです（敬称略）。

【小1】優秀賞…一条碩希（福岡）「ピカピカ大きくせん1・2」【小2】最優秀賞…赤石未来（石切所）「春から秋のはたけ」優秀賞…長畑美玖（福岡）「りんごのへん色じっけん～茶色くなったりんごは元にもどるのか」【小3】優秀賞…古戸愛理（石切所）「風のはたらきの研究」【小4】優秀賞…芳賀優（福岡）「冬の生き物調べ」【小5】最優秀賞…奥結子（金田一）「塩水の植物への影響」優秀賞…川崎志優（石切所）「くりガニ観察PartⅢ」【小6】最優秀賞…久慈太陽（福岡）「日本酒が出来るまで」、優秀賞…小田島颯（石切所）「身近にある水溶液の性質—酸性・アルカリ性・中性調べ—」【中学校】最優秀賞…佐々木大聖、田中館大地（福岡）「植物色素のpHによる色の変化を調べる」

ニュース

入隊に向け志高く

本市出身で、ことし4月から自衛隊に入隊する久保田力哉さん、清川拓真さん、中村央さん、福田恵登さんの4人が2月17日、藤原淳市長を表敬訪問しました。市長が「御嶽山の噴火や広島



左から、久保田力哉さん、清川拓真さん、福田恵登さん、中村央さん

の噴火や広島土砂災害など、自衛隊への期待は高まっている。志を高く持って、国や国民の役に立てよう頑張ってください」と激励すると、一人ずつ入隊後の意気込みを述べ、活躍を誓いました。▷久保田さん（下斗米出身、20歳）「さまざまな目標を達成できるよう立派な人間に成長したい」▷清川さん（浄法寺町出身、19歳）「入隊した同級生が国を守るために訓練に励んでいることを知ったのがきっかけ。自分も何かを守るために頑張りたい」▷中村さん（福岡出身、18歳）「資格取得に励みたい。海外への派遣に備えてしっかり準備をし、国際貢献したい」▷福田さん（金田一出身、17歳）「東日本大震災での救助活動に感銘を受けた。地域の方に支えられて今の自分があるので、恩返しをしたい」

ニュース

高齢者見守りで協力

市はこのほど、いわて生活協同組合（飯塚明彦理事長）と、高齢者の見守りに関する協力協定を締結しました。

者見守り取り組みに協力協定締結



1月26日の締結式には藤原淳市長、飯塚理事長らが出席。同組合が行う配達業務の中で、協定書を交わした藤原市長（左）と高齢者世帯の訪問時に飯塚理事長（右）

異変を確認したときは市に連絡をするほか、緊急時は110番通報をするなど、見守り体制の強化に努めます。締結を終え藤原市長は「高齢者の一人暮らしが増えるなか、心強い支援」と期待。また飯塚理事長は「高齢者が安心して暮らすための一助になれば」と決意しました。

ニュース

福岡小、長年の調査に感謝状

水生生物による河川の水質調査に長年取り組んでいる福岡小学校（佐藤順校長）に、県から感謝状が贈られました。この調査は、肉眼で見ることのできるさまざまな生き物（指標生物）の生息状況を調べ、その結果から水の汚れ具合を判定するもの。同校では平成5年から、科学クラブのメンバーが白鳥川で調査を行っています。



贈呈式は1月22日、同校で行われ、県北広域振興局二戸保健福祉環境センターの吉田博所長が、同クラブ部長の藤原幸成君（6年）と副部長の戸館海仁君（同）に、表彰状と副賞の調査用具を手渡しました。藤原君は「昨年はヘビトンボが見つかり、水がきれいだと分かった。これからも続けてほしい」と後輩にエールを送りました。

吉田博所長（左）から感謝状を伝達される藤原幸成君（中央）と戸館海仁君（右）

ニュース

詐欺や火の元、気を付けて

金田一交通安全母の会（工藤ミナ会長）は1月28日、交通安全や防犯などを呼びかける「ふれあい訪問活動」を行いました。警察や消防、交通安全協会など約30人が参加。出発前に二戸警察署の勝又薫啓発グッズを手渡し、防犯などを呼びかけました



た特殊詐欺の被害や交通事故の状況などを聞き、それらの防止を改めて決意しました。その後大通りや九戸通、駅前など約400世帯を訪問。反射材つき手袋などの啓発グッズを配りながら、冬道での交通安全や、特殊詐欺の被害防止、火の元の確認などを呼びかけました。

啓発グッズを手渡し、防犯などを呼びかけました

お知らせ 菅原ゆかりさん教育委員に

教育委員の森川則子さんが2月21日をもって退任し、菅原ゆかりさんが新たに任命されました。

任命式は2月22日、市役所で行われました。菅原さんは「教育の面から市民の皆様の力になれるよう、勉強しながら頑張りたい」と決意。任期は平成31年2月21日までの4年間です。



教育委員に任命された菅原ゆかりさん

なお、同日行われた平成27年第2回二戸市教育委員会定例会で、清川泰委員が教育委員長に再任されました。

お知らせ 予防接種、お早めに

高齢者肺炎球菌感染症予防接種は昨年10月から、国が接種を勧める「定期接種」になりました。市は今年度、接種費用のうち4,000円を下記の対象者に助成しています。接種料金と助成金額との差額は自己負担です。

この予防接種は1人1回限りです。今年度の対象者は3月31日(火)までに接種しないと助成が受けられなくなりますので、希望する人は早めに接種してください。

- 対象** ①、②のいずれかに該当する人
 ①平成26年度中に次の年齢に達する人…65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳以上
 ②60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能の障害またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害を有する人

※ただし、今までに任意接種で肺炎球菌ワクチンを受けたことがある人は対象外

その他 対象者には昨年10月末に予診票を送付しています。接種を希望する人は予診票を持参し、かかりつけ医のもとで接種を受けて下さい。

問い合わせ先 健康推進課 (☎ 23-1313 内線 332)

お知らせ こころの相談

期日 3月19日(木)
場所 ほほえみセンター
受付時間 午後1時～4時(電話予約が必要です)
担当 一戸病院院長・精神科医 小井田潤一先生
問い合わせ、申込先 健康推進課 (☎ 23-1313 内線 251)、浄法寺総合支所市民課 (☎ 38-2211 内線 133)

お知らせ 育英資金のご案内

市は高校や大学など(専門学校を含む)に在学する人を対象に、育英資金を貸与しています。

応募資格 市内に住所を有する者の子で、高校以上の学校に在学し、経済的理由により修学が困難と認められる人
貸与月額 高校等は15,000円以内、高等専門学校等は25,000円以内、大学等は35,000円以内(正規の在学期間)

返済について 貸与期間終了後の翌月から、貸与月額の3分の1以上に相当する金額を毎月返済していただきます。

受付期間 3月16日(月)～4月10日(金)
 ※土日を除く

申込方法 市役所市民課、教育委員会、各出張所、浄法寺総合支所市民課で申込書類などを配布しますので、必要事項をご記入の上、市教育委員会教育企画課まで申し込みください。

詳しくはお問い合わせいただくか、市のホームページをご覧ください。

問い合わせ、申込先 教育企画課(内線587)

三圏域連携事業 八戸★トピックス

てしごとびと クラフトいち
手仕事人の小さな暮らふと市



八戸近郊でこだわりのものづくりをしている作家たちによるミニクラフト市です。

革小物、フェルト、服飾、アクセサリ、陶器など、オリジナル作品がいっぱい!

日時 3月21日(土祝)、22日(日) 午前10時～午後5時

場所 八戸ポータルミュージアム はっち(八戸市三日町11-1) 1階はっちひろば、ギャラリー1

問い合わせ先 八戸ポータルミュージアム はっち(☎ 0178-22-8228、http://hacchi.jp)

まごみ訪問マッサージ
 医療保険を使った訪問マッサージを行っています。患者様やご家族の方の不安を少しでも解消できます様、無料体験という形でマッサージ治療を体験して頂いています。ご不安や疑問に対して、納得頂けるまでご説明させていただきます。
無料体験マッサージを行っています。まずはお電話ください。
 ☎0195-43-3170 家庭で出来るマッサージをご紹介しています。
 受付時間 9:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)
当社の施術者は全て国家資格取得者です。安心して施術をお任せ下さい。
 医療保険を使う場合は、医師の同意書が必要です。
 【二戸店、九戸店、久慈店】
 (お近くの店舗からお伺いいたします。) **あんま・マッサージ・指圧師募集!**
 まごみのマッサージ動画配信! <http://www.magomi.com>

安心の づくりツア- スーパーウォール パネル工場 GO
4月18日(土)
 8:30 → 11:30 ~ 15:45 → 17:45
 二戸発 (カネキ事務所) 二戸着 (カネキ事務所)
 ★ランチ準備します★ in-関
 「家づくりの前に、お伝えしたい!! 目で確かめ、体感して、後悔しない家づくりをしていく為に企画しました!」
パンダホーム TEL 23-6797
 ～(有)カネキ～ 二戸市堀野字大谷地 27-4
 お詫び パンダまつりは4月29日(水・祝)に変更になりました。

認定こども園
 毎週火・木・土曜日開設(月・水・金曜日は幼稚園舎)
◎二戸市子育て支援ひろば◎
絵本の貸出しやっています!
 この事業は、二戸市の委託を受けて認定こども園 松の丸幼稚園・まつまる保育園が運営しています。
長嶺児童会館にて(10:00～15:00)
松の丸幼稚園 ☎ 23-5444 / ☎ 25-8445
まつまる保育園 ☎ 22-2525 / ☎ 22-2526
 〒028-6101 二戸市福岡字構場しあわせ通り19番地

ご厚志	ふるさと納税
<p>【1月1日～31日受付分】 まちづくりのために 72件 = 1,920,000円 教育のために 29件 = 560,000円 福祉のために 11件 = 110,000円 以上、112名様より2,590,000円のご寄付をいただきました。ありがとうございます。ご芳名は市ホームページで紹介させていただきます。</p>	

お知らせ	児童クラブの開始時間
<p>市は、下記の通り児童クラブの開始時間を試験的に変更します。 開始時間 午前7時30分（土曜日、長期休業期間のみ） 変更する時期 今回の春休みから 問い合わせ先 子育て支援企画課（☎23-1313 内線338）</p>	

求人情報	ハローワーク二戸
<p>2月15日現在、ハローワーク二戸に申し込みのあった求人の中から掲載しました。求人に関する問い合わせは、ハローワーク二戸（石切所字荷渡6番地1 ☎23-3341）まで。（☎はパート）◎ハローワークでは随時紹介を行っています。この求人の中でもすでに決定済みになっている場合があります。あらかじめご了承ください。</p>	
職 種	事 業 所 名
機械開発・設計《要経験》	東光コイルテック(株)
現場監督《要経験》《要資格》	(株)アルパライフ
建設工事現場代理人（建築）《要資格》	(株)中館建設
建設工事現場代理人（土木）《要資格》	
調理員	パ
訪問介護員《要資格》	パ
看護師・准看護師（交替制勤務）《要資格》	岩手県立二戸病院
看護師または准看護師《要資格》	菅整形外科皮膚科クリニック
看護師または准看護師《要資格》	
看護職員（サントピア）《要資格》	(社)共生会
業務員（土木製品担当）	二戸商事(株)
業務員（建築製品担当）	
墓石の営業販売員（二戸本店）	(株)上戸工業
介護職員（慶愛荘）《要資格》	(有)アーヴェリック
訪問介護職員《要資格》	(有)百蔵 訪問介護事業所 ももの木住宅型有料老人ホームくつつ樹
美容師《要資格》	(有)相馬美容室
店員・調理補助	鉄板焼き処 来
店員	
食品製造工（カット作業員）	(株)昭和食品 東北事業部 岩手県北工場
惣菜製造員	久慈ファーム(有)
サービス・サポートメンテナンス（事務機センター）	(株)三幸堂ビジネス
セールス（事務機センター）	
運転手および伐採作業員《要資格》	(有)高峰重機
通信設備障害修理・局内試験要員《要資格》	福岡電業(株)
土木作業員（見習い可）	(有)大船工務店
捕鳥部社員	(株)古館運輸
接客・調理係および職業指導員	パ NPO法人 三の丸ひまわり
講師（自動車システム科）《要資格》《要経験》	パ 岩手県立二戸高等技術専門校
ガソリンスタンド店員	パ (有)中館商事
調理補助兼接客係	パ 小保内魚店
ホールスタッフ（夜）	パ 中国料理 龍潭酒家
健康食品製造員	パ (株)夢実耕堂

お知らせ	考えよう、地域福祉
二戸地域保健福祉活動実践報告会	
<p>二戸地域の保健福祉活動団体や、住民の皆さんを対象に、保健福祉活動実践報告会を開催します。お気軽にご参加ください。</p> <p>日時 3月10日（火）午後1時～4時 場所 シビックセンターホール 内容 ①講演「これからの二戸地区の方向性」 講師 東北福祉大学総合福祉学部教授 都築光一さん ②ステップアップ交流会の報告 報告者 九戸、二戸、一戸、浄法寺の活動団体 問い合わせ先 二戸地区広域行政事務組合（☎23-7772）</p>	

募集	ご意見をお寄せください
【高齢者福祉計画】	
<p>募集期間 3月20日（金）まで 公表方法 市ホームページに掲載するほか、福祉課窓口にて備え付けます。 意見提出方法 住所・氏名を記入し、郵便・ファクシミリ・メールなどで提出ください。 問い合わせ、提出先 福祉課（〒028-6101 福岡字八幡下11番地1、☎23-1313、FAX:22-1188、E-Mail:hukusi@city.ninohe.iwate.jp）</p>	
【第6期介護保険事業計画（概要）】	
<p>募集期間 3月11日（水）まで 公表方法 二戸地区広域行政事務組合ホームページに掲載するほか、二戸地区広域行政事務組合と市福祉課窓口にて備え付けます。 意見提出方法 住所・氏名を記入し、郵便・ファクシミリ・メールなどで提出ください。 問い合わせ、提出先 二戸地区広域行政事務組合 介護保険推進室（〒028-6102 下斗米字細越20番地1、☎23-7772、FAX:22-1441、E-Mail:kaigo@cassiopeia.or.jp）</p>	

小さい子あつまれ！

<p>0・1歳の ぴよちゃん クラブ</p>	<p>2・3歳の うさちゃん クラブ</p>
<p>3月はお休みします。</p>	
<p>毎週火曜日 9:45～11:30 ふくおか幼稚園</p>	
<p>認定こども園 ともいき</p>	
<p>〒028-6101 二戸市福岡字上平27 TEL 0195-23-2530</p>	

《全ホール・宿泊室完備》

<p>いのへセレモニーホール 〒028-6111 二戸市福岡一ツハツ路30-6 ☎0195-29-1600 FAX 0195-29-1611</p>	<p>福岡セレモニーホール 〒028-6101 二戸市福岡字下町10 ☎0195-23-4440 FAX 0195-23-4443</p>	<p>軽米セレモニーホール 〒028-6301 九戸郡軽米町大字土屋15-130-1 ☎0195-46-4109 FAX 0195-46-4330</p>	<p>くのへセレモニーホール 〒028-6502 九戸郡九戸町大字伊保内3-13-16 ☎0195-43-3409 FAX 0195-43-3410</p>
--	---	---	--

玉座グループ いのへ・福岡・軽米・くのへセレモニーホール
24時間受付 各セレモニーホールへお電話下さい。

日本調剤二戸薬局

みさと
工藤 美郷さん (28歳)

小学生からのあいさつにほっこり 二戸は優しい人が多い街

—勤めてどのくらいですか

10カ月になります。

—現在どんな仕事をしていますか

薬剤師として、窓口でお薬の説明や副作用の確認をして患者様の健康管理のお手伝いをしています。また少しずつですが、薬品の発注や在宅訪問もしています。薬局では市販薬や血糖測定器なども取り扱っています。お困りのことがあればお気軽にお越しください。

—自己分析するとどんな人ですか

楽観主義で「何とかなるさ」といつも思っています。そんな性格なので学生時代、長期休みの宿題は最終日にひいひい言いながらやっていました(笑)。

—趣味は

最近は休日のドライブを楽しんでいます。バレンタインの日も予定がなかったので、一人で水沢まで高速道路を走ってきました(笑)

—理想の男性像はどんな人ですか

価値観の違いを受け入れてくれる人です。

—将来の夢は

薬剤師になる、という夢を叶えたいばかりなので…次



は自分で薬局を開くことです。

—二戸市に対してひとことお願いします

引っ越したばかりのころ、通りすがりの小学生にあいさつされ、驚いたのと同時に温かい気持ちになりました。二戸は優しい人が多い街だと思います。患者様にも親切にいただいていますし、職場の先輩にも助けられています。初めての配属先が二戸でよかったなあと思います！

日本調剤二戸薬局

堀野字大川原毛 40-7 平成16年5月1日開局、従業員数7人。市民に親しまれる「かかりつけ薬局」を目指し、ジェネリック医薬品の提供や在宅訪問による薬の管理のサポートなどを含めたサービスを行う。



93杯目 こみゅにTeaたいむ

みんなの参加でまちづくり

市は「協働のまちづくり」を進めています。二戸市が今後さらに元気なまちを作っていくため、多くの人がさまざまなまちづくり活動に関わっていくことが求められています。

「人が減って将来に希望が持てない」という声も聞かれますが、未来はこれからの取り組み次第で大きく変わります。

今回開催する研修会は地域づくりに関する講演や地域おこし協力隊の実践発表、今年度町内会などや市民団体が行ってきた助成事業の事例発表を学び、まちづくりを考えます。どなたでも参加できますのでぜひ参加ください。

日時 3月15日(日) 午後1時～4時

場所 シビックセンター1階ホール

内容

①講演「地域課題を逆手にとった地域の活性化
～青森県大鰐町おおわにまちの事例を中心に～」

講師：青森コミュニティビジネス研究所 三上亨所長

②地域おこし協力隊活動報告

地域おこし協力隊 永井尚子隊員、野澤優介隊員

③まちづくり事業補助金(4団体)、市民団体活動推進事業補助金事業報告(14団体)

入場料 無料

定員 100人

問い合わせ、申込先 地域振興課 (☎ 23-3115)



講師

三上 亨とおるさん

(青森コミュニティビジネス研究所所長)

1979年弘前大学人文学部経済学科卒業。

2010年青森公立大学大学院で経営経済学博士取得。現在、青森公立大学地域みらい学科講師、市民自然エネルギー株式会社取締役などを務める。環境省、国交省、青森県、県内市町の各種委員を歴任。また、「地域活性化伝道師」(内閣府)「地域力創造アドバイザー」(総務省)「地域再生マネジャー」(ふるさと財団)として、地域再生の支援に取り組んでいる。



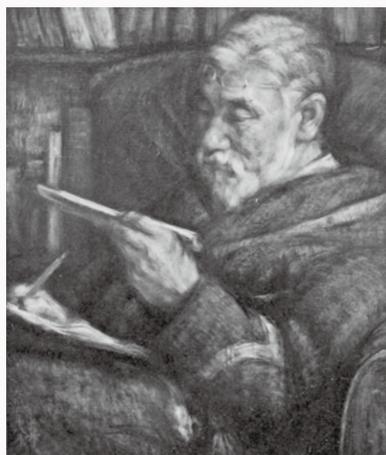
【25年コンマ零】

「定年」身をもって行動

「私の最も気持ちの良かった日は、60歳の還暦の年、それまでのあやまちをお詫びして、役目のお許しを願った時でありました。いつまで経ってもわすれられません」

1951（昭和26）年、94歳の田中館愛橋が雑誌に語った思い出は、当時世間に大きな衝撃を与えた東大の辞職騒動だった。

その日、1916（大正5）年10月7日、東京小石川植物園で田中館の東大教授在職25周年祝賀会が行われた。各界の著名人300人を迎えての盛大な会は浜尾新男爵の開式の辞で始まり、東大総長山川健次郎らの祝辞が続



画家中村誠が描いた田中館愛橋の肖像画。「計算尺」を持った田中館らしいポーズを取っている1916年（二戸市田中館愛橋記念科学館提供）

いた。

やがて満場の拍手の中、田中館が壇上に立ち答辞を行った。感慨深げに辺りを見回し、少し沈黙の後、驚くべき発言をした。

「諸君、……私はこれを25年コンマ零の記念会として謹んでお受け致します」。列席者の戸惑いをよそにさらさら言葉は続いた。

「明治24年初めて教授に任ぜられてから何ら学界に貢献することもなく今日に至った。私の如き浅学のものが今日まで大学教授の席を汚したのは、斯

界にまだ人を得なかった時代の為であったが、老年者が厚かましく教授の席を占むる時でないと考えて、今朝大文学本部に辞表を提出してきました。この宴はわたしにとって別れの宴であります。どうか辞職を許して戴きたい」

一同は仰天し、代わる代わる田中館の元に行き留任を求めた。しかし、田中館の意志は変わらなかった。とりなしに努めた山川総長も空しく、辞任を認める代わりに次の三つの条件を示し妥協した。

①将来航空研究所設立の上はその本官たるべきこと②理学部は辞職後講師たるべきこと③免官発令は少しく後るべきこと。そして翌年4月に依願免官の辞令が出た。6月には東京帝大名誉教授の称号を授けられた。田中館はこれを喜んだ。

当時、「停年退職」の定めはほとんど無く、東京帝大でも定年制度が検討されたが実現しない。ついに田中館が身をもって行動したからその反響は凄まじかった。山川総長はその後定年制度に取り組みが、在職中には実現でき

なかった。

田中館は祝賀会の年に、下斗米秀三（火山学者）を婿養子に迎え公私ともに後進に道を譲ったが、当人はこれでやっとローマ字運動に専念できると意気盛んであったという。あまりに元氣すぎて自転車で転び大腿骨を骨折している。

（中村誠 田中館愛橋会事務局長）

【ミニコラム】 気鋭画家が肖像画

計算尺でポーズ

田中館の在職25周年祝賀会で、当時気鋭の画家中村^{つね}誠が田中館の肖像画を描き、贈った。弟子の寺田寅彦によると、田中館らしさを出すため、「計算尺」を持ったポーズに決まった。しかしちっともじっとしていないので、デッサンの間、寺田が話し相手になってなだめた。

そろばんの時代に、画期的な計算機能を持った計算尺を日本に初めて持ち込んだのは田中館だった。

こしゃーる

～学びの広がるまちづくり、未来を拓く人づくり～

すばらしい歴史、発掘して

槻陰舎きぼう塾の郷土史講演会と閉講式は2月7日、シビックセンターで行われ、塾生や市民およそ100人が来場しました。講演では郷土史研究家の九戸合戦の背景を語る阿部幹男さん阿部幹男さんが、郷土の英雄・九戸政実が豊臣秀吉の大軍に立ち向かった九戸合戦の背景を説明。この戦いを正確に記録した史料は一点しか残されておらず、軍記の解説や発掘調査などにより明らかにされてきた経緯を解説し「ほら話の中にもどこか真実がある。これらの研究と科学的な検証を続けていけば、すばらしい歴史が掘り出されていくだろう」と調査を続けていくことの意義を語りました。



同塾は高い志を持った青少年を育成しようと、市教育委員会が平成23年度から、市内の中学生と保護者を対象に行っています。こしは稲庭岳トレッキングや被災地訪問、大学見学などを実施。全ての回に出席した及川ゆうさん（福岡中2年）は「きぼう塾でいろいろなことを学んだ。物事を冷静に見ることができる大人になりたい」と決意を見せました。

力作ぞろいの手づくり絵本

第35回手づくり絵本（県読書推進運動協議会ほか主催）の受賞者は2月20日、鳩岡矩雄教育長を訪問し受賞の喜びを報告しました。



子どもの部最優秀賞^{なほひろ}の佐藤直洋君は「虫やネコをより本物に近づけるように描いた」、優秀賞の山本美有^{みゆう}さんは「わかりやすい色使いに気がつけた」とそれぞれ振り返りました。また一般の部最優秀賞の佐藤洋子^{ようこ}さんは「介護という重いテーマを子どもにもわかりやすく、また介護をしている人が楽になれるよう理想の物語を作った」と話しました。鳩岡教育長は「まず『やってみよう』という気持ち大切です。これからも挑戦して」と期待しました。



左から、一般の部最優秀賞・佐藤洋子さん「おばあちゃんまっぺー」、

子どもの部最優秀賞・佐藤直洋君「カブトムシ・クワガタムシ世界大会」、同優秀賞・山本美有さん「みうの絵本の旅」

小さな美術館



今回は、御返地小学校の作品を紹介します

田口 琉惺^{りゅうせい}くん
(2年)



紙粘土工作「フルーツケーキ」

志田 菜々美^{ななみ}さん
(4年)



書道「麦」

藤本 桃葉^{ももは}さん
(5年)



版画「ひまわり」

図書館情報

市立図書館、浄法寺カシオペアセンター 今月の新刊とお知らせ



復興文化論 日本の創造の系譜 福嶋亮大 著

柿本人麻呂、空海、村上春樹、宮崎駿などをあげ、過去の「戦後」に発生したいくつかの言葉とイメージを収集、検証、再編集し、日本的創造の系譜に迫る。



避難所 垣谷美雨 著

東日本大震災であらわになった家族の実像。段ボールの仕切りすらない体育館で、「絆」を強要される妻たち。震災の真実を描き、真の再生を問う問題作。社会派小説の旗手がタブーに挑む。

〈その他の新刊〉▷「イスラーム国」の脅威とイラク (吉岡明子、山尾大編)▷つながりっぱなしの日常を生きる (ダナ・ポイド著)▷励ます力 (長野正毅著)▷ハッブル望遠鏡がとらえた宇宙の絶景 (縣秀彦監修)▷老い方上手 (上野千鶴子ほか著)▷日本列島発掘史 (大塚初重著)▷女優が実践した介護が変わる魔法の声かけ (北原佐和子著)▷チンピラちやうねん、教師やねん (三輪光著)▷トンデモ地方議員の問題 (相川俊英編)▷確実に利益を上げる会社は人を資産とみなす (松久久也著)

◆新たなスタートのために

春は新たなスタートの季節。入園、入学を控えたお子さんを持つ人や新社会人をサポートする本を紹介します。▷世界一たのしいひとり暮らし術▷セコムが教える防犯プロのアドバイス▷大人なら知っておくべきお作法の教科書▷わかりやすい文書の書き方▷社会人1年目からできる!企画立案の教科書▷社会への出かた▷自分のこころのトリセツ▷しっかりとした敬語と伝え方▷ハンドメイドの入園入学グッズ▷パパッと作れておいしい!初めての園児おべんとう▷基本がわかる!ハツ江の料理教室

◆市立図書館3月の行事

- 花ぐるまおはなし会 (2階児童室)
3月7日 (土) 午前10時30分~
- かっこう読書会 (3階視聴覚室)
3月15日 (日) 午前10時~
- 三浦哲郎文学を読む会 (3階視聴覚室)
3月15日 (日) 午後1時~

〈今月の休館日〉◎市立図書館…3月9、16、23、24、30、31 (館内整理日)、4月1日◎浄法寺カシオペアセンター…3月9、16、23、30、4月1日

問い合わせ先 市立図書館 (☎ 23-3447)、浄法寺カシオペアセンター (☎ 38-4117)

マイ・トレジャーズ

~はじめませんか、あなたの“宝”さがし~

こんにちは! 金田一歌のつどい です!



私たち「金田一歌のつどい」は、昭和55年に結成し、以来35年間にわたり活動を続けております。歌うことが好きな仲間が集い、楽しく過ごせることに感謝しています。

現在のメンバーは19人で、さまざまなジャンルの歌にチャレンジしています。

主な活動は、金田一地区敬老会、日本文化のつどい、カシオペア合唱祭への出演で、素晴らしい演奏をお届けできるよう、毎回練習に励んでいます。

練習は毎月第1、2、3金曜日に金田一コミュニティセンターで行っており、歌の好きな方ならどなたでも大歓迎です。少しでも興味のある方は、ぜひ一度練習を見学、体験にいらして下さい。

金田一歌のつどい

会長 小枝 宣子 会員 19人
活動 毎月第1、2、3金曜日
午後1時30分~4時
場所 金田一コミュニティセンター
入会申込、問い合わせ先
会長・小枝 (☎ 27-3601)、事務局・中屋 (☎ 27-2389)

3月の納税 ～忘れずに納めましょう

○納め忘れはありませんか？

納め忘れがあるときは、速やかに納めましょう

休日夜間窓口（市役所税務課）

▷休日窓口…3月22日（日）午前8時30分～午後5時

▷夜間窓口…3月25日（水）～31日（火）午後7時まで（土日を除く）

○市税・保険料の納付は、便利・確実・安全な**口座振替**をご利用ください

▷納めに出かける必要なく、**便利**▷納め忘れの心配なく、**確実**▷現金を持ち歩くことなく、**安全**

申し込み方法 通帳、印鑑、納税通知書、口座振替依頼書をもって預貯金口座のある金融機関へ直接申し込みください。

問い合わせ先 税務課（内線242）

ドライバーさん、気をつけて！

～市PTA連合会からのお願いです～

問い合わせ先 市PTA連合会事務局（福岡中学校内 ☎23-3325）

【御返地小学校付近の危険なポイント】

旧県道二戸安代線の歩道のない箇所では、児童は路側帯を歩きます。しかし冬は除雪された雪が路側帯にたまるので、やむを得ず車道寄り歩く場合もあります。

また、積雪で横断歩道が隠れるとつい見落としがちになり、児童が手をあげても気づかれない場合があります。

児童の集団登下校中は特に注意し、安全運転をお願いします。



小学校へ直結する横断歩道に注意



【二戸西小学校付近の危険なポイント】

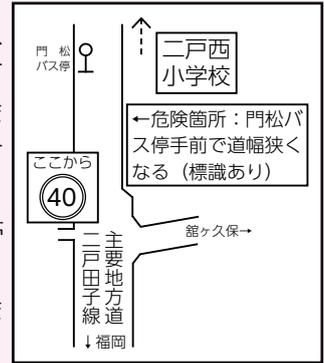
主要地方道二戸田子線の門松バス停手前で道幅が急に狭くなり、走行制限速度も40km/h制限区間になります。

朝夕は交通量も多く、広い道路の下り坂をスピードを出して走行してくる自動車も見られます。歩道もない箇所ですので、大変危険です。

児童の登下校の時間帯は特にスピードを控え、安全運転をお願いします。



緩やかなカーブも多く危険な区間



【コーナー終了のお知らせ】「ドライバーさん、気をつけて！」は、今月をもって終了します。ドライバーの皆さん、今後も引き続き安全運転をお願いします。

二戸警察署のぴかっとニュース

「カシオペア安全メール」がスマートフォン対応に

二戸警察署と二戸地区防犯協会連合会では、管内で発生した声かけ事案や特殊詐欺などの発生状況を配信する「カシオペア安全メール」を実施しています。被害防止などの安全情報を月1～2回、また不審車情報などは不定期に配信します。メール受信およびモバイルサイト閲覧の際の通信については有料ですが、サイト入会金などはありません。また、スマートフォンご利用の人は専用アプリ「まちComi」で情報を受信できます。

これからも皆さんの安全な暮らしに役立つ情報を配信しますので、ぜひ登録、利用ください。



←登録はこのQRコードを読み取り表示されるアドレスに空メールを送信するか
[tiab6979@machicomi.jp]に直接送信ください

今一度確認！「安全運転五則」

- 1 安全速度は必ず守る
- 2 カーブの手前でスピードを落とす
- 3 交差点では必ず安全を確認する
- 4 一時停止で横断者の安全を守る
- 5 飲酒運転は絶対しない

交通事故（1月分） 飲酒運転検挙者

人身事故	3件（3件）				
死者	1人（1人）				（1月分）
負傷者	2人（2人）				1月はありませんでした。
物損事故	46件（46件）				1月からの累計 0人
					（ ）は1月からの累計（対前年比 ±0人）

人の動き

(平成 27 年 1 月末日現在)

人口 28,911 人 (- 30)
 うち男 13,705 人 (- 13)
 女 15,206 人 (- 17)
 世帯数 11,846 世帯 (- 13)
 出生 20 人 (男 10・女 10)
 死亡 61 人 (男 34・女 27)
 転入 36 人
 転出 23 人

火災・救急

(1 月分)

火災出動 1 件 (1 件)
 救急出動 123 件 (123 件)
 () は 1 月からの累計

■空気が乾燥し、火災が起こりやすい季節です。

火の元の管理は十分に行いましょう。

休日当番医

※広報発行後に当番医が変更になる場合があります。

当日の新聞などで確認してください。

月	日	休日救急当番医 (午前 9 時～午後 5 時)	歯科当番医 (午前 9 時～正午)
3 月	8 日	松井内科医院 一戸町・☎ 33-2201	渡辺歯科医院 堀野・☎ 23-2052
	15 日	菅整形外科皮膚科クリニック 石切所・☎ 23-7311	岩渕歯科医院 一戸町・☎ 32-2238
	21 日	浄法寺診療所 浄法寺・☎ 38-2021	阿部歯科クリニック 福岡・☎ 25-4182
	22 日	いちのへ内科クリニック 一戸町・☎ 33-2701	曾根歯科医院 金田一・☎ 27-3108
	29 日	川村医院 福岡・☎ 23-3252	関歯科医院 浄法寺・☎ 38-2937
4 月	5 日	齋藤産婦人科医院 石切所・☎ 23-2505	阿部歯科クリニック 福岡・☎ 25-4182

【お知らせ】議員定数 22 人から 18 人に

第 1 回二戸市議会臨時会が 1 月 21 日に召集され、議員定数を 22 人から 18 人にする条例改正案が、賛成 17、反対 3 の賛成多数で可決されました。これにより、ことし 7 月に予定されている市議会議員選挙から、議員定数は 18 人になります。

議員定数をめぐっては、昨年の 6 月議会で議員定数調査検討特別委員会が設置され、市民アンケート、市民の代表から提言を受ける「議員定数を考える会」などを行い調査・検討を進めてきました。

詳細は 2 月 16 日発行の「にのへ市議会だより 34 号」15 頁をご覧ください。また、アンケートの結果など調査、検討した内容は、今春発行する「二戸市議会だより議員定数特集号」でお知らせします。

問い合わせ先 議会事務局 (内線 413)

いちいち編集室

ド ライバーさん、気をつけて！の掲載に

際し、ご協力いただいた各小学校の先生方、本当にありがとうございました。▽防災士講習、実は私も受けまして、無事合格しました。この資格を無駄にしないよう、まずは自分の気を引き締めることから始めます(齋藤) 海外派遣に日韓スポーツ交流…二戸の中学生たちはこの冬、海を渡ってさまざまなことを吸収してきたようです。海外派遣の報告会では、生徒たちの「学ぶ力」に脱帽。今後の成長が楽しみです。いつか密着取材の夢が叶いますように(一藤)

二戸市郷土芸能祭（二戸市郷土芸能保存団体連絡協議会など主催）は2月8日、市民文化会館で催されました。ことしは市内で活動する11団体のほか、久慈市、八戸市などから5団体が参加。各地域に伝わる伝統の舞を披露し、観客から大きな拍手が送られました。

開会式では同協議会の小保内一夫会長があいさつ。「私たちは郷土芸能を後世に伝えるため地道に活動している。興味のある人はぜひ参加してほしい」と呼び掛けました。また、長年郷土芸能の継承に尽力してきた戸末俊朗さん、平恵吾さん、遠堀鐵男さん、宮澤正治さんへの表彰も行われました。



市教育委員会表彰と名人表彰を受けた（左から）戸末俊朗さん、平恵吾さん、遠堀鐵男さん、宮澤正治さん

第32回二戸市郷土芸能祭 兼 三圏域郷土芸能交流祭 守り受け継ぐ、伝統の舞

【表紙】 呑香稻荷神社神代神楽保存会 「大蛇退治の舞」

- ① 金田一大神楽保存会 「大神楽」
- ② 上米沢鹿踊り保存会 「鹿踊り」
- ③ 坂本七ツ物保存会 「七ツ物」
- ④ 武内神社神楽保存会 「盆舞」
- ⑤ 駒ヶ嶺新山神楽保存会 「権現舞」
- ⑥ 下斗米山伏神楽保存会 「三坊荒神」
- ⑦ 天台寺舞楽保存会 「陵王」
- ⑧ 二戸市ナニヤトヤラ保存会 「ナニヤトヤラ」
- ⑨ 金田一神楽保存会 「番楽」
- ⑩ 深山神社神楽保存会 「番楽」
- ⑪ 戸呂町神楽保存会（久慈市） 「三番叟」
- ⑫ 湊虎舞保存会（八戸市） 「虎舞」
- ⑬ 山根神楽保存会（久慈市） 「御神楽」
- ⑭ 「八戸小唄」「八幡馬のうた」雅会（八戸市） 「南部俵積み踊り」
- ⑮ 山内神楽保存会（軽米町） 「鶏舞」

